



持ち寄りキャンドルナイト



しま たけしさん
島田 岳史さん

「もともと、大人のための居場所づくりに興味があって、いつか実現させたいと思っていた時に、ポットラックプロジェクトを知り、参加してみようと思いました」

島田さんは、友人のカフェでキャンドルナイトを行った経験から、公園で夜も楽しみたいという思いで今回のキャンドル作り体験を提案しました。家に余っているろうそくを持ち寄り、リユースするコーナーです。「ポットラックのようなイベントをきっかけに、公園が大人も子どもも困ったときに助け合えるような、フラットなつながりを築く場になるといいと思います。大人も童心に帰って楽しんだり、楽器の得意な方呼んで、生演奏を聞いて音楽に触れたり、リラックスできる空間をつくり出す『チルフェス』をいつか開きたいです」

ジャングルジムおわかれ会

おざく あき子さん
小作 あき子さん



「富士見公園は家から近いけれどなかなか行く機会がなくて。ポットラックを通じて何かしたいという気持ちがあって参加しました」

1回目のトーク※のときに話題の中で、物などのお別れ会をしたという事例を聞き、ジャングルジムが撤去になるこのタイミングで、イルミネーションやメッセージを書いた飾り付けをして、ジャングルジムに感謝の気持ちを示したいと思い提案しました。

「市内にある公園を通じて、近所の人が少しずつ関わりを持ち、遊び場やくつろぎの場になるといいです。公園に来ることで、自然にそれができたらいいなと思います」

※トーク：ポットラックプロジェクトの一環で、全国の公園や公共空間で活動するゲストからヒントをもらう会



①②ジャングルジムおわかれ会。感謝の気持ちを込めてジャングルジムをデコりました ③許可を取って焚火も ④羽村のおすすめスポットなどをマッピングして皆で情報を共有

「生活の中に市内でのつながりや知り合いが欲しいと思っていたところ、広報はむらでポットラックプロジェクトのことを知って、2回目から参加しました」
2年前に羽村で生活を始めたが、羽村のことがわからず、人とのつながりもなかなかできなかった経験から、このコーナーを提案しました。
情報交換を通じて知り合い、たまたま公園で会って話すようになったり、一緒にご飯を食べに行ったり、公園をそんな場にしたと考えました。
「子どもがいないと公園に来る機会がないけれど、そんな人も公園の広い空間でいろいろな人と関わって、ゆっくり過ごせる場になっていったらいいなと思います」



たかはし
高橋さん夫妻

羽村のおすすめ情報を集めよう